

## 令和6年度大腸がん検診の実施について

## 1 精検票の変更について

令和5年度滋賀県がん検診検討部会大腸がん部会において、精検受診後のがん検診について、対策型検診でよいかを記入する欄を設けることになったため、令和6年度作成時に変更する予定をしています。

## 2 精検受診率向上に向けて

## (1) 大腸がん検診医療機関別実績票の交付

医療機関からの受診勧奨を促すため、引き続き実施します。

## (2) 検診対象者についての周知

- ・がん検診受診希望者には、全大腸内視鏡検査を受けて数年しか経過していない人は、がん検診の受診について、主治医と相談するよう事前説明書に記載する。
- ・検診実施医療機関には、陽性になった場合、精密検査を受けられるか、年齢や体調を十分考慮した上でがん検診を受け付けていただくよう年度初めに周知する。

## 3 受診率向上に向けて

大腸がん検診受診券（自己負担あり）を肝炎ウイルス検診無料クーポン券に同封するとともに、がん検診受診券（胃がん、肺がん結核検診とセットの受診券）を発行する予定です。

## ●肝炎ウイルス検診無料クーポン券対象者

・・・40歳全員、41、46、51、56、61歳肝炎ウイルス検診未受診者

●がん検診受診券・・・50、54、60、64、68歳

※68歳を追加する理由

- ・国が推奨する年齢が40～69歳であるため、60歳代後半への受診勧奨を強化する。
- ・大津市胃がん検診の対象が年度年齢50歳以上偶数年齢となることを考慮し、受診勧奨の対象年齢として設定した。